

学部・講義：幼児や保育者の姿、保育の現場を思い描きながら 自らの考えを深める

幼児教育・青井倫子

1. 授業の概要

本科目は幼年教育の専修科目（2回生対象必修）であると同時に、幼稚園教諭免許状の教職に関する選択科目（一種：必修、二種：選択必修）、保育士コースの必修科目である。

授業の内容は、(1)幼児教育の方法及び領域のとらえ方、(2)領域「人間関係」導入の背景と意義、(3)幼児をとりまく人間関係の特質と機能、(4)幼児の仲間意識発達のすじ道、(5)人とかかわる力を育む保育のあり方である。

2. 受講学生 18名

2回生:13名（教育学2名、幼年教育7名、家政教育4名）

3回生:1名（理科教育1名）

4回生:2名（国語教育1名、数学教育1名）

大学院生:2名（学校教育1名、臨床心理1名）

3. 授業の工夫

(1)幼年教育専修や保育士コースに所属している学生が多かったが、保育現場の観察や実習の経験は浅く、また、幼児教育の基礎知識や、幼児とかかわった経験、幼稚園を見学した経験などがまったくない学生も4分の1程度いた。そのような学生であっても、具体的な幼児の姿や保育場面をイメージしながら授業を理解できるような配慮を常に心がけた（ビデオ視聴、幼稚園教諭と園児のやりとりを青井の演技力の範囲内で再現、青井が研究上記録した事例をプリントで配付、等）。

(2)ノートテイクに労を費やさず、授業内容を理解することに集中できるよう、授業は記入式のプリントに従ってすすめた。

(3)学生が自らの意見や考えを持ち、それと

照らし合わせながら理解を深めていけるよう（一方的な伝達にならないよう）、発問-応答のやりとりを心がけた。

(4)青井が幼児を演じ、学生に幼稚園教諭(保育士)として応対させ、それに対してコメントや解説を与える方法も多く取り入れた。

4. 授業評価の方法

14回目の授業終了時にアンケート（5段階評定と自由記述）を配付し、持ち帰って記入してもらった。回収は最終授業日に行った。

学年・専修・氏名の記入は、個々の学生の自由意思に任せた。

5. 授業評価の結果

5：たいへんそう思う（非常によい）

4：ややそう思う（よい）

3：どちらともいえない（ふつう）

2：あまりそう思わない（あまりよくない）

1：まったくそう思わない（よくない）

(1)学生の自己評価

出席状況 4.6

受講前に問題意識があったか 3.9

意欲的に取り組んだか 4.4

(2)授業に対する評価

テーマ・目的は明確だったか 4.6

話し方は明確・聞き取りやすかったか 4.9

重要なことを強調したか 4.9

プリントに沿った授業は理解を助けたか 4.9

ビデオ視聴は授業の理解を助けたか 4.9

授業への熱意・工夫が感じられたか 4.9

内容・レベルは適切だったか 4.4

考えが培われたり得るものがあったか 4.8

学問をする雰囲気は保たれていたか 4.8

教職に就くうえで有益だったか 4.9

(3)自由記述

<良かった点、印象に残った点>

- ・自分と子どもの信頼関係が、どのように子どもの人間関係につながるのか、漠然としていたが、理解が深まった。
- ・子どもたちの心の内面、保育者の在り方など、様々なことを学び、毎時間とても刺激的で楽しく学んで来ました。
- ・すべて想像しながら学んでいくのに、講義を聴き、学んでいく中で、実践でやって行けそうという気が起こり、モチベーションが上がる。
- ・毎回、資料や文献を提示してくださったので、振り返りに役に立った。
- ・前回の授業や既習事項の復習を兼ねながら新しい内容と関連を持たせて授業展開されるので一貫性がありわかりやすかった。
- ・事例が多くとりあげられており、実際の子どもの状況を知ることができるため、授業での知識を実践に生かすことができる。
- ・事例や先生の実体験から、保育における子ども-子どもの関係、子ども-保育者の関係について、ポイントを絞って学ぶことができた。
- ・事例を取り上げる時に、子どもたちのその時の雰囲気を伝えながら紹介してくれるので、場面が想像しやすく、後々にも印象に残り、復習の時に事例と理論が結びついて考えやすかった。
- ・実際の保育現場での事例について考察を述べたり、模擬場面において“どう対応するか”や“どう対応すべきだったか”について自分なりに考えたりする機会が多く、学びにつながった。
- ・子どもとのやりとりの疑似体験や色々なシチュエーションの子どもの行動が取り上げられ、具体的ななかかわり方について学んだので、抽象的でなく、とても分かりやすかった。
- ・先生の体験談も話されたり、先生を相手に幼児とのやりとりを想定した実践のようなものがあって、より身近に感じ、学ぶことができた。
- ・プリントに沿って講義を進めるので、わかりやすかった。
- ・最後にテキストのプリントでのまとめがあるので、よりわかりやすかった。
- ・授業内容と関係の深いビデオが選ばれており、ビデオを見る時に、どのような観点で見たらよいか分かりやすかった。

<良くなかった点、改善すべき点>

- ・B4のプリントなので、補足を書き込めるスペースが少なかった。
 - ・保育実習の前に学んでおきたかったと思うことが多かったのも、前期科目だったらよかった。でも、自分の実習での反省をできるという点では後期に受講できてよかった。
- #### <その他>
- ・子どもが秘める力のようなものを感じて感動する場面がたくさんあった。
 - ・子どもにとって、いつでも安心できる存在でありたいと心から思ったことが、特に印象に残っている。
 - ・「これはメモしておきたい!」「重要だ」と思うことが本当にたくさんあり、プリントが真っ黒になった。
 - ・先生の授業は、本当に90分があつという間で、眠くなりません。
 - ・ほとんど板書がなく口頭で話されるのは他の授業ではないように感じたが、その分、集中することができたし、先生が強調しておっしゃってくださるので大切なところやポイントを押さえやすいと思った。
 - ・学生の意見を聞いているところは、他の授業ではほとんどなく、珍しいと思った。
 - ・先生の一つ一つの説明がとても分かりやすく、とても聞きやすかった。
 - ・毎回授業が楽しみで、幼稚園や保育所の現実的な部分も垣間見ることができ、とても勉強になった。
 - ・先生の体験談やビデオの内容など、具体的な例がとても多かったのでイメージをつかみやすかった。
 - ・教師役になるなど、参加型、体験型の授業で、楽しく考えることができた。
 - ・先生を相手に、子ども-保育者のやりとりをする時は、正直、緊張してしまいましたが、すごく勉強になりました。
 - ・「授業だ!」という雰囲気がとてもある。
 - ・先生の子どもの頃の話（幼い頃の先生の心の中）が、とてもおもしろかった。
 - ・先生は厳しい、怖いという噂を耳にしていたが、とても楽しく授業を受けさせていただいた。4年間で2回しか受講できなかったことを、今ではとても残念に思う。しかし、現場に直結する学びが本当に多かったのもう一度、2回の授業を振り返り、これから経験とともにまた学んでいきます。